

和歌山県地震

令和6年8月

1. 和歌山県の地震活動

震央分布図	・・・・・・・・ 1
概況	・・・・・・・・ 1
断面図	・・・・・・・・ 2
和歌山県で震度1以上を観測した地震及び震度一覧	・・・・・・・・ 3
震度分布図	・・・・・・・・ 4

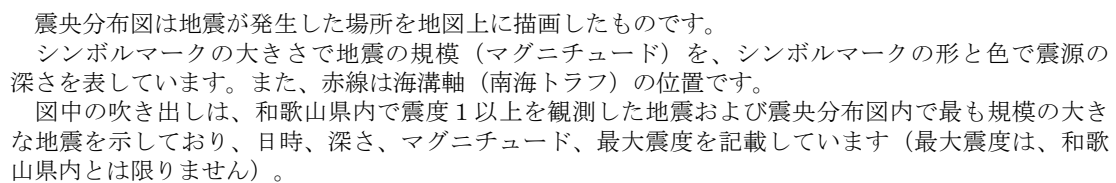
2. 地震一口メモ

南海トラフ地震臨時情報について	・・・・・・・・ 5
-----------------	------------

- * この資料に使われている震源要素（北緯・東経）は、世界測地系に基づいています。
- * この資料の地震の震源要素は暫定値を使用しています。震度データを含めて再調査した後、修正することがあります。
- * 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- * この資料に掲載した地図は、国土地理院の数値地図25000（行政界・海岸線）を使用しています。

和歌山地方気象台

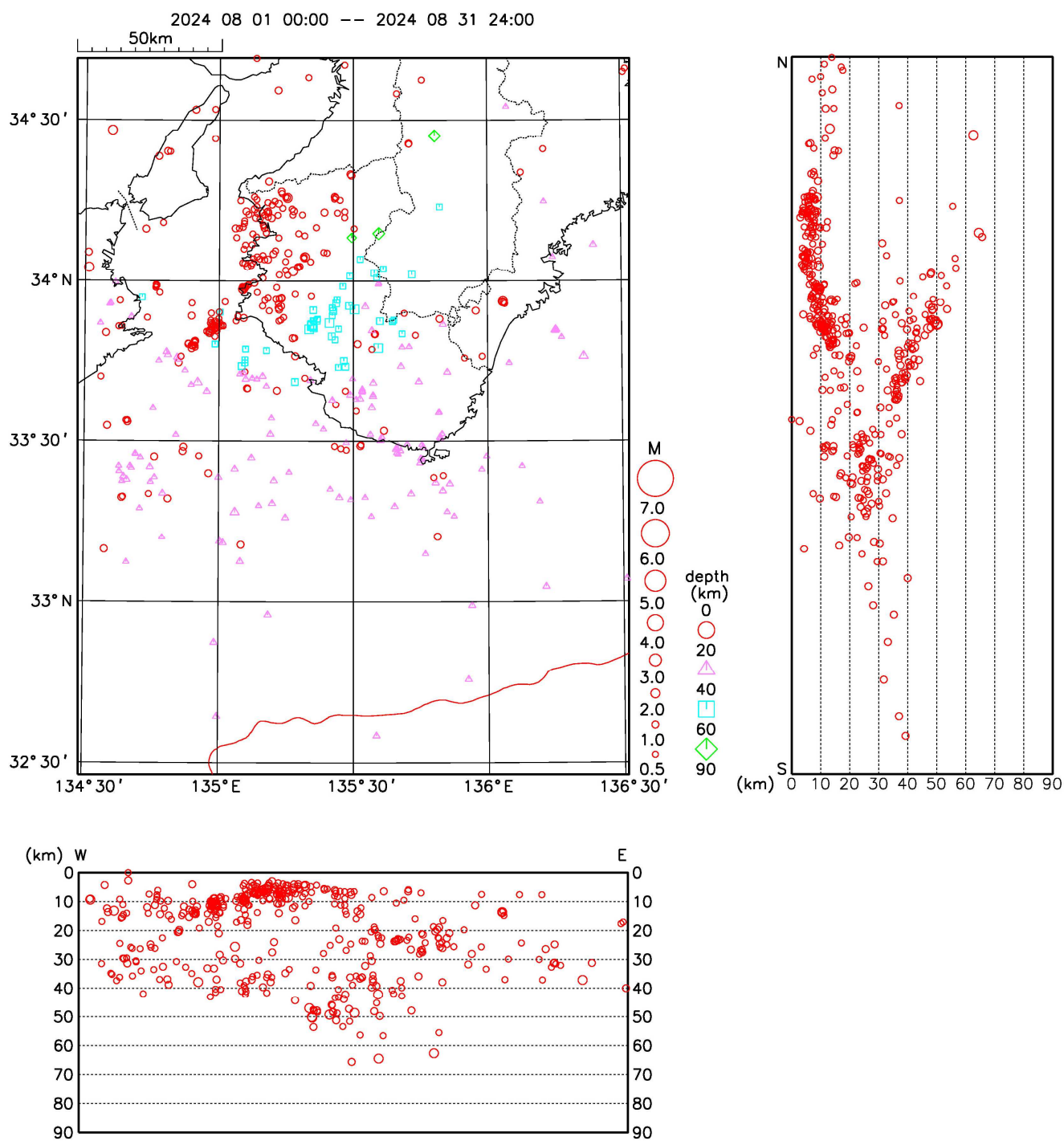
【震央分布図】



8月の震央分布図内で震源決定した地震のうち、マグニチュード(M)2.0以上の地震は19回(前月は23回)でした。そのうち最も規模の大きかった地震は、27日02時59分の播磨灘の地震(深さ13km、M2.6)でした。この地震は地殻内で発生しました。

8月に和歌山県内で震度1以上を観測した地震は、2回(前月5回)でした。

【断面図】



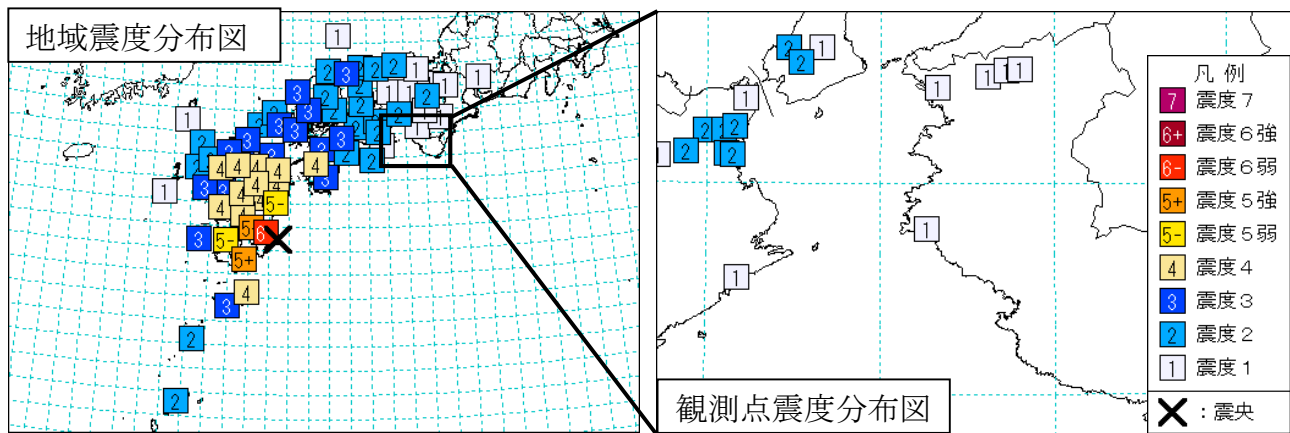
【 和歌山県で震度 1 以上を観測した地震及び震度一覧 】

発震時（年月日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
各地の震度（和歌山県内のみ掲載）					
2024年08月08日16時42分	日向灘	31° 44.2' N	131° 43.3' E	31km	M7.1
和歌山県 震度 1：和歌山市男野芝丁, 和歌山美浜町和田＊, 紀の川市粉河, 紀の川市西大井＊ 岩出市西野＊					
2024年08月25日14時05分	和歌山県北部	34° 01.8' N	135° 16.5' E	6km	M2.5
和歌山県 震度 1：湯浅町青木＊					

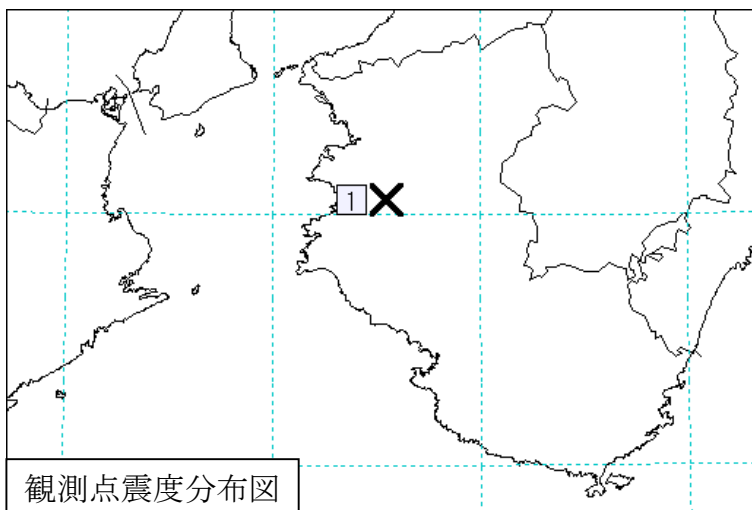
地点名の最後に＊のついている地点は、和歌山県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

【震度分布図】

2024年08月08日16時42分 日向灘の地震（深さ31km、M7.1）



2024年08月25日14時05分 和歌山県北部の地震（深さ6km、M2.5）



2. 地震一口メモ

南海トラフ地震臨時情報について

2024年8月8日に日向灘で地震（M7.1、深さ31km）が発生し、「南海トラフ地震臨時情報」を、令和元年の運用開始以降、初めて発表しました。今回は、気象庁が発表する南海トラフ地震に関連する情報について解説します。

◆南海トラフ地震の防災対策については、中央防災会議が作成した「南海トラフ地震防災対策推進基本計画」に定められています。南海トラフ沿いで発生した異常な現象のうち、以下の3つのケースは、大規模地震の発生可能性が平常時に比べて相対的に高まっていると考えられるため、防災対応をとることになっています。

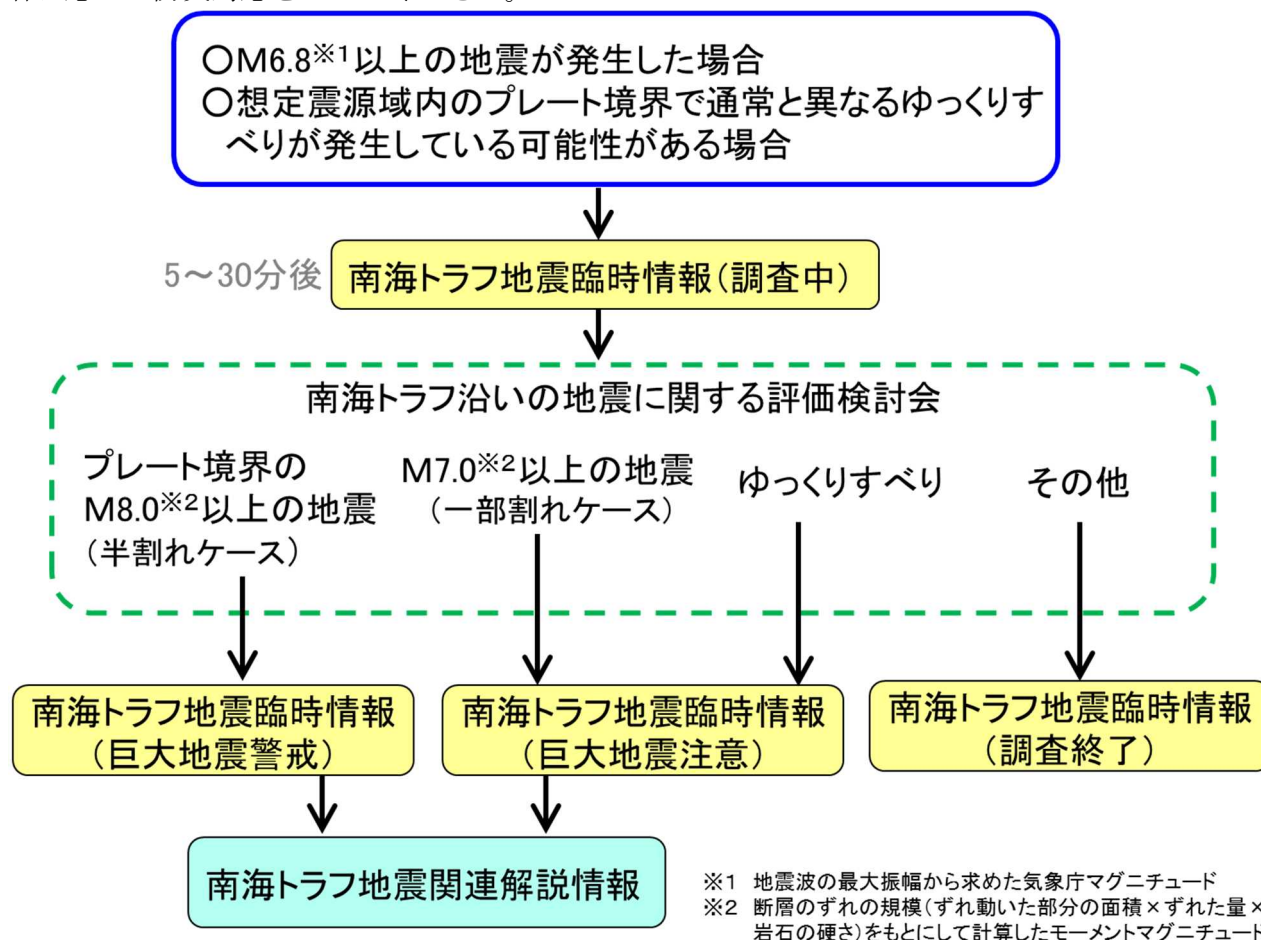
発生事象	プレート境界でM8クラスの地震が発生した場合（半割れケース）	大規模地震に比べて一回り小さいM7クラスの地震が発生した場合（一部割れケース）	プレート境界で大きなすべりによる地殻変動が観測された場合（ゆっくりすべりケース）
防災対応の流れ（時間↓）	地震発生後1週間は、後発地震に警戒する措置をとる ・大規模地震発生後の避難が間に合わない地域の住民は避難 ・日頃からの地震への備えを再確認する等	地震発生後1週間は、後発地震に注意する措置をとる ・日頃からの地震への備えを再確認する等	通常と異なるゆっくりすべりの変化が収まってから、通常と異なる変化が観測されていた期間と概ね同程度の期間が経過するまでの間、注意する措置をとる ・日頃からの地震への備えを再確認する等
	さらに1週間は、後発地震に注意する措置をとる ・日頃からの地震への備えを再確認する等	大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、通常の生活を行う	
	大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、通常の生活を行う	大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、通常の生活を行う	

◆気象庁は南海トラフ沿いを24時間体制で監視し、上記3つのケースと思われる異常な現象が観測された場合は、調査を開始したことや調査結果を南海トラフ地震に関連する情報でお知らせします。南海トラフ地震に関連する情報は、以下の2種類があります。

情報名	発表条件
南海トラフ地震臨時情報 ※	- 南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合 - 観測された異常な現象の調査結果を発表する場合
南海トラフ地震関連解説情報	- 観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合 「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（南海トラフ地震臨時情報を発表する場合を除く） ※すでに必要な防災対応がとられている場合は、調査を開始した旨や調査結果を南海トラフ地震関連解説情報で発表することがあります

※「南海トラフ地震臨時情報」は、情報名の後に、（調査中）、（巨大地震警戒）、（巨大地震注意）、（調査終了）を付記して発表します。

南海トラフ地震に関連する情報の発表の流れは下図のとおりです。「南海トラフ地震臨時情報」が発表された場合は、政府や自治体から防災対応が呼びかけられますので、呼びかけの内容に応じた防災対応をとってください。



【参考】

2024年8月8日の日向灘の地震の時は、以下のように情報を発表しました。

8月8日 16:43 M6.9 (速報値) の地震発生

17:00 南海トラフ地震臨時情報 (調査中)

[南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会を開催]

→プレート境界の一部がずれ動いたことにより発生した
モーメントマグニチュード7.0の地震と評価

19:15 南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震注意)

8月9日 15:30 南海トラフ地震関連解説情報

⋮

◎内閣府HP「南海トラフ地震防災対策」ページ

<https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/index.html>

◎リーフレット「南海トラフ地震ーその時の備えー」

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nteq/index.html>

◎マンガで解説！南海トラフ地震その日が来たら・・・

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nteq_manga/index.html